令和７年度　企画展示

掘れたて考古展

▶鐙田遺跡第３地点出土の耳飾り(左)
製塩土器(右)

▶鐙田遺跡第３地点発掘調査の様子

柳瀬川と黒目川が流れる新座市域では、縄文時代の遺跡が両河川沿いから発見されます。黒目川右岸にある鐙田遺跡からは縄文時代後期・晩期の土器等が見つかっており、令和６年度に実施した第３地点の発掘調査では、縄文時代晩期の土器が多数出土し、土偶や耳飾りなどの特徴的な遺物も確認されました。本展示では、発掘調査の成果を中心に、新座市の縄文時代について紹介します。

考古学講座
「世界遺産の縄文遺跡群と埼玉南部の縄文遺跡の関係」

講　師：早稲田大学文学学術院准教授　中門亮太　氏
日　時：２月１日(日)　午後１時３０分から３時３０分まで

追加募集！
申込みは歴史民俗資料館まで

ギャラリートーク

▶▷市学芸員が本展示を解説します。

日　時：２月７日(土)及び
２月２２日(日)
午後２時から

申込み不要

拓本教室
本物の土器の破片を使って拓本をとってみよう

▶▷新座市内で出土した本物の土器を使って、拓本をとることができます。とった拓本は記念に持ち帰ることができます。

日　時：２月１４日(土)及び２月２１日(土)
午前１０時から午後３時まで

申込み不要

▶鐙田遺跡第３地点出土の中空土偶

※各イベントの詳細は市HP又は
QRコードからご確認ください。